

3 簡易沈下計による観測

白石地区内の有明粘土層（平均層厚 20m）の収縮状況を調査するため、簡易沈下計による観測を実施（杵藤農林事務所）した。

平成 28 年度の平均沈下量は 1.55mm となっており、沈下傾向を示した。平成 26 年度は昭和 38 年の調査開始以降初めて、わずかながらではあるが、隆起傾向を示しており、近年の平均沈下量も以前に比べて小さくなってきていることから、有明粘土層の収縮は収まってきていると考えられる。

表 10 平成 28 年度の簡易沈下計による地盤変動量観測結果 (単位:mm)

番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	平均
所在地	白石町 福田	白石町 福吉	白石町 福富下分	白石町 遠ノ江	白石町 新拓	白石町 新明	白石町 新明	白石町 牛屋	白石町 築切	白石町 田野上	
挿入管 全長	20.80m	19.54m	16.66m	21.88m	20.66m	28.80m	25.26m	27.80m	20.80m	19.00m	22.12m
4月	0.0	-1.0	0.0	---	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.00
5月	0.0	1.0	0.0	---	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.22
6月	0.0	-4.0	0.0	---	0.0	0.0	-1.0	0.0	0.0	0.0	-0.56
7月	0.0	2.0	0.0	---	1.0	-1.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.33
8月	0.0	3.0	0.0	---	0.0	1.0	2.0	0.0	0.0	2.0	0.89
9月	0.0	-2.0	0.0	---	0.0	0.0	-2.0	0.0	0.0	0.0	-0.44
10月	0.0	0.0	0.0	---	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.11
11月	0.0	0.0	0.0	---	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.11
12月	0.0	1.0	0.0	---	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.22
1月	3.0	1.0	0.0	---	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.56
2月	0.0	-1.0	0.0	---	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-0.11
3月	0.0	1.0	0.0	---	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.22
年間	3.0	1.0	0.0	---	1.0	2.0	5.0	0.0	0.0	2.0	1.55

No.4 は平成 28 年度に廃止。